

活用の力を育てるポイント

- ① 目的のある算数活動の充実
 - ・ 「帯図」を活用することで、問題解決の見通しを持ち、割合を視覚的に理解できるようにする。
- ② 算数科における言語活動の充実
 - ・ 教室掲示やフラッシュカードで既習事項を意識付けし、それをペアトークに生かせるようにする。
 - ・ 「思考の流れに沿った学習過程」の活用
 課題把握 → 見通し → 自力解決 → 集団解決 → 振り返り
- ③ 実生活や他教科、算数の学習での活用
 - ・ 割合を使った買い物場面の作問や他教科でのグラフの活用等の時間を充実させ、算数で学んだことが生かせることを実感させる。

評価の工夫

机間指導では、○付け法を行い、児童の思考過程を段階的に評価し、自力解決への意欲付けと個に応じた指導に生かせるようにした。本時は以下の点で評価を行った。

- A 割合に関する問題を百分率、比べる量とともにする量と乗除の関係を理解し、問題の解き方のポイントを説明することができる。
- B 割合に関する問題を百分率、比べる量とともにする量と乗除の関係について理解し、問題を解くことができる。

(努力を要する状況への手立て)

- ・ 割合の問題の解き方(板書)を使って段階的に問題を解けるようにする。

教材・教具



<帯図>

2つの量の関係を視覚的に捉えることができ、立式の手立てにもつながった。

⑦

$$\square \times 6 = 15$$

$$\square =$$

<フラッシュカード>

乗除の判断のヒントとなるように□を使った式の反復練習をした。

既習の学習の活用



もとの量・割合・比べる量の見つけ方や、帯図のかき方など、割合の問題の解き方のヒントとなる教室掲示をした。

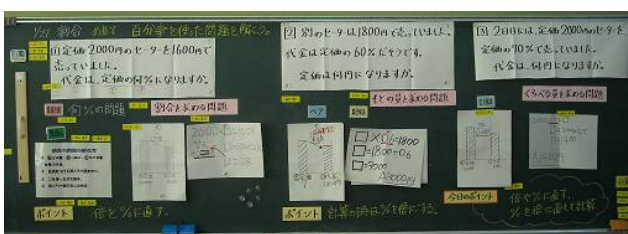
児童の「算数作文」より

定員(もとの量)が同じだと引き算で求められるけど、同じ場合は割り算が必要なくなりました。次回はもとの量の見分け方を知りたいです。(第1時)

今日の問題は、%を倍にするか、倍を%にするかよく考える問題でした。もし、服を買いたいときに安くなっていたら、もとのお金が分かりそうです。(第6時<本時>)

お店に行って●%のことがよく分からなかったけど、今は分かるようになりました。割合や図はいろいろな場面で活用できると思いました。(第13時)

板書例



単元の流れへ

本時の流れへ

評価問題

HOME